

合法証明木材等に関する国際シンポジウム 2010
違法伐採問題に対処する日本の取組
International Symposium on Legality Verified Wood 2010
Activities in Japan to tackle illegal logging issues
実施計画案(11/25)

社団法人全国木材組合連合会 一般社団法人全国木材検査・研究協会

1. 背景と趣旨

地球規模の違法伐採問題に対応するため、日本政府は 2006 年 4 月から、合法性・持続可能性が証明された木材を原料とする製品を優先的に購入する政策を実施に移しており、日本の木材業界は林野庁が発表した「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」に基づき、合法性などが証明された木材製品を供給する体制を構築し、それに応じたマーケットが確立してきてきた。また、2004 年から日本とインドネシア間の違法伐採対策のための「アクションプラン」に基づく木材トレーサビリティ技術の開発がすすみ実用段階に入っている。

これまでの、日本の取組は、木材と木材製品の信頼性と普及可能性 (Credibility and Distirbutability) の双方を追求するものとして、国際シンポジウム¹などで紹介されるとともに、Gohowood の取組として国際的にも評価されてきた。

違法伐採問題に対する取組は、生産国のみならず欧州、北米などの消費国においてもグローバルに進められており、日本の取組の経験も踏まえ、各国の経験を共有する意味は大きい。このため、合法証明木材等に関する国際シンポジウム 2010 を開催し、日本の取組を関係各国に紹介すると共に、海外の取組の中での Gohowood の意義を明らかにしていくこととしたい。

2. 国際セミナーの概要

(1) 名称 合法証明木材等に関する国際シンポジウム 2010：違法伐採問題
に対処する日本の取組

(2) 日時 2010 年 12 月 10-11 日

¹ 2007 年 2 月「違法伐採総合対策推進国際セミナー、2007in 東京 日本の木材調達政策に対する世界の対応」、2007 年 12 月「違法伐採対策推進国際セミナー 2007 -信頼性と普及可能性のある合法木材証明システムを求めて-」2008 年 6 月 G8 サミットに向けた Goho-wood 円卓会議「地球環境国際議員連盟 (GLOBE International) と語る合法木材供給システムの将来」、2009 年 12 月 2009 年合法証明木材等推進シンポジウム「違法伐採問題に対する Gohowood の取組み」

- (3) 場所 TFT ホール 500 (東京都江東区有明 東京ビックサイト前)
- (4) 主催 社団法人全国木材組合連合会、一般社団法人全国木材検査・研究協会
後援：林野庁、環境省 (予定)
- (5) プログラムの概要
- 開会
- 第 1 部 木材と木材製品の合法性証明のためのトレーサビリティシステムの開発と運用と関連政策 (1 0 日)
- ・木材トレーサビリティシステムの開発・運用
 - ・インドネシアにおける木材トレーサビリティシステムの運用と関連政策
 - ・サラワク C o C システムと関連政策
- 第 2 部 日本の合法性証明の取組と違法伐採対策 (1 1 日午前)
- 日本政府林野庁、木材供給事業者認定団体、国内の需要者など
- 第 3 部 日本の合法性証明木材の取組と世界の違法伐採対策の進展と未来 (1 1 日午後)
- ディスカッション
- 欧州、米国、中国、インドネシア、マレーシア関係者
- (6) 併催行事
- 会場の一角で、第一部木材トレーサビリティの仕組み、第二部輸入・国内流通される Gohowood に関する展示を行う
- (7) 参加者 (約 2 0 0 名)
- 日本国内の行政関係者、木材製品調達関係者、企業調達関係者、木材加工・流通業者、木材輸入業者、消費者、環境 NGO、学術関係者
- 日本に対する木材輸出国の木材輸出業関係者、行政関係者
- (8) 使用言語
- 日本語、英語、同時通訳
- (9) 連絡先
- 社団法人全国木材組合連合会
一般社団法人全国木材検査・研究協会
100-0014 千代田区永田町 2-4-3 永田町ビル 6 F
電話 +81-3-3580-3215 FAX +81-3-3580-3226
メール info@goho-wood.jp 担当 藤原 佐々木、若園 加藤

3. 合法証明木材等に関する国際シンポジウム 2010 プログラム

時間	プログラム	展示	
10 日	1000-1030	開会 主催者挨拶 全国木材組合連合会会長 並木瑛夫 来賓挨拶 (農林水産政務官 (予定))	
		休憩	
	1030-1215	第一部 木材と木材製品の合法性証明のためのトレーサビリティシステムの開発と運用 開会 全国木材検査・研究協会理事長 木材トレーサビリティシステムの開発と運用 全木検 調査・研究部長 佐々木亮 インドネシアにおける木材トレーサビリティシステムの運用と関連政策 インドネシア林業省経済貿易担当顧問ハジ・パサリブ 同国際協力センター アグス・サルシト 同森林利用生産計画局 マディワルド	Gohowood 輸入材全情報 (仮称) 海外の取組 国ごと,輸出者ごとに小さなブース (パネル2~3枚)
	1215-1330	昼休み	合法木材製品に関する展示
	1330-1430	第一部 インドネシアにおける木材トレーサビリティシステムの開発と関連政策 インドネシア林業省森林利用生産計画局クスマンダル インドネシアエコラベル協会 計画責任者 アレン・プルバウィヤツナ	SIPUHH,J LIRA システムの実演と紹介
	1430-1500	休憩	
1500-1730	第一部 サラワク CoC システムと関連政策 サラワク州林業局 高級森林官 ジャック・リアン 質疑 討議		
11 日	1000-	2日目の開会 合法木材推進・違法伐採対策委員会座長	
	1010-1040	第二部 日本の合法性証明の取組と違法伐採対策 (司会 森林総合研究所国際研究推進室長 藤間剛) 基本報告 林野庁 日本木材貿易対策室長 小澤眞虎人	
	1040	休憩	
	1050-1230	第二部 報告 木材業界団体の取組 静岡県木材協同組合連合会 専務理事 又平義和 日本木材輸入協会 専務理事 大橋泰啓 ノースジャパン素材流通協同組合常務理事高橋早弓 報告 消費者・需要者の取組 FoE ジャパン副代表 岡崎時春	

	<p>(社)日本木造住宅産業協会 資源・流通部長 永田進一</p> <p>(社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント 協会 環境委員会副委員長大石美奈子</p> <p>質疑</p>
1230- 1400	昼休み
1400 1515	<p>第三部 日本の合法性証明の取組と世界の違法伐採対策の進展と未来</p> <p>(司会 東京大学大学院 永田信教授)</p> <p>セクション1 報告</p> <p>インドネシア林業省林業歳入・貿易局長 リスヤ・クスマワルダニ</p> <p>マレーシアサラワク林業後者持続可能な林業コンプライアンス部長</p> <p>セミラン・リポット</p> <p>中国 木材流通協会会長 朱光前</p> <p>欧州森林協会 プログラム管理者 ビンセント・ピン・デン・パーク</p> <p>米国貿易管理庁 USTR 天然資源環境管理局長 デヴィッド・ブルックス</p>
	休憩
1530- 1650	<p>セクション2 パネルディスカッション</p> <p>セクション1 報告者</p> <p>+</p> <p>林業経済研究所理事長 荒谷明日児</p>
1650- 1700	閉会